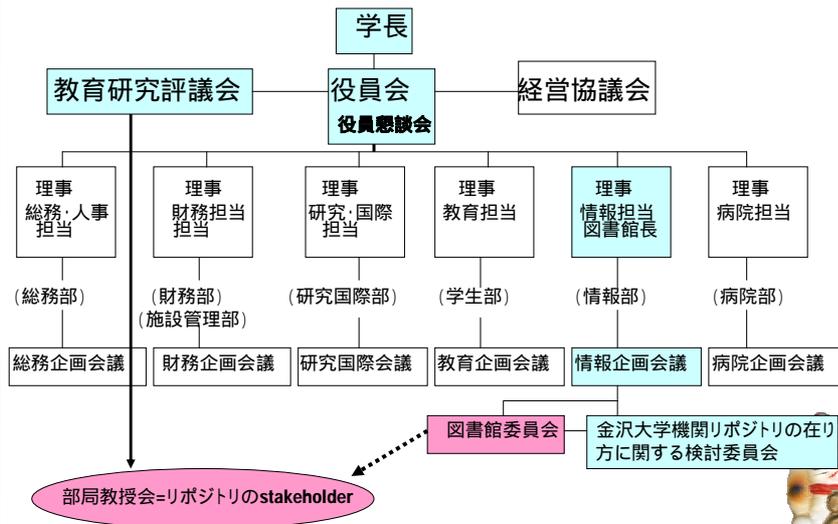


学内説明戦略について: 基幹的会議での事業認知と授会来訪による個別アピール

国立情報学研究所CSI事業報告会
 平成18年5月16日(火)
 金沢大学情報部情報企画課
 内島 秀樹



1. 金沢大学の基幹的組織の紹介 平成17年段階



2. 採択直後の状況(1)

(1) 本学の基幹会議の一つである情報企画会議でCSI事業の推進について情報担当理事(図書館長兼任)から説明了承を得る。これにより、図書館ではなく、大学の事業として進めることが決まる。

(2) 情報企画会議の下に「金沢大学機関リポジトリのあり方に関する検討委員会」設置(教員7名、職員2名)

座長は附属図書館長、委員は、医学部、工学部、法学部、理学部、文学部、薬学部(開放センター長)の教員、図書館サービス課長、情報企画課長補佐から構成(合計9名)



2. 採択直後の状況(2)

(3) 情報部職員のWGを設置(職員7名)

以後、(2)(3)が両輪となり、学内合意形成とCSI予算執行実務を担う。

(4) 以下、学内合意形成は、**基幹的会議でのオーソライズと個別教授会での広報**に分けてオーソドックスに実施した。



3. 金沢大学機関リポジトリの在り方に関する検討委員会検討内容

- (1) 対象コンテンツ(及び導入スケジュール)
 1. 本学発行の刊行物(紀要、報告書等)
 2. 学外学術雑誌掲載論文(特にグリーン論文)
 3. 学位論文、報告書、電子教材など
 4. プレプリント
- (2) アンケート実施
上記1, 2の収集のためのアンケート実施
- (3) リポジトリの設置規程、運用規程などの策定
- (4) 基幹的会議への報告(報告書の作成)
- (5) 次年度の課題



4. 基幹的会議での事業認知(1)

- (1) 平成17年10月14日 情報企画会議
情報担当理事説明
CSI事業について説明、「金沢大学機関リポジトリの在り方に関する検討委員会」設置承認
- (2) 平成17年11月18日 教育研究評議会
情報担当理事説明
CSI委託事業の説明と機関リポジトリの概念説明
検討委員会によるアンケート実施と実施にあたっての部局説明会実施について了承を得る



4. 基幹的会議での事業認知(2)

- (3)平成17年12月中旬～平成18年2月
全部局教授会での機関リポジトリ説明会
- (4)平成17年12月5日 第一回アンケート実施(学内刊行物)
- (5)平成18年1月27日 第二回アンケート実施(学外雑誌)
- (6)平成18年3月14日 役員懇談会 情報担当理事
金沢大学学術情報リポジトリ設置要項について説明



4. 基幹的会議での事業認知(3)

- (7)平成18年3月15日 図書館委員会 附属図書館長
金沢大学機関リポジトリの在り方に関する検討委員会検討報告了承
金沢大学学術情報リポジトリ設置要項承認
来年度以降は図書館委員会が事業運営のための委員会組織となること了承
- (8)平成18年3月17日 教育研究評議会 情報担当理事
金沢大学学術情報リポジトリ設置要項を承認
名称 **Kanazawa University Repository for Academic Resources (KURA)**と決定
本学の事業として最終的な認知を得る



4. 基幹的会議での事業認知(4)

(9)平成18年4月21日 教育研究評議会

学長

学長説明資料

「国立大学法人金沢大学 平成18年度の重点課題と取組
(案)」

「 . 教育研究環境の整備(2)情報環境の整備」

に課題として、

「学術情報リポジトリの運用」が掲載される。



5. 部局説明会(1)

(1)部局説明会 平成17年12月～平成18年2月

アンケート(2回にわたる)実施に合わせて、機関リポジトリの
概念説明とアンケートの実施及び論文寄贈の依頼のため
部局説明会を行なう

各部局の教授会の開始前15分程度を頂いて、学部長から
の紹介後、情報部職員WGのメンバーからスライドを使って
説明

各部局の総務係に電話を入れ、教育研究評議会での了承
事項として説明会を申し入れた

若手職員が直接説明、複雑な質問、難しい質問時のみ管
理職が答える(役割分担を意識)



5. 部局説明会(2)

工学部は、一番人が集まる新年会でどうかと学部長から提案を頂いた

対象部局は、11部局、1センター連合

工学部、薬学部、理学部、経済学部、文学部、法学部、法務研究科、医学部、医学部保健学科、教育学部、附属病院、センター長会議

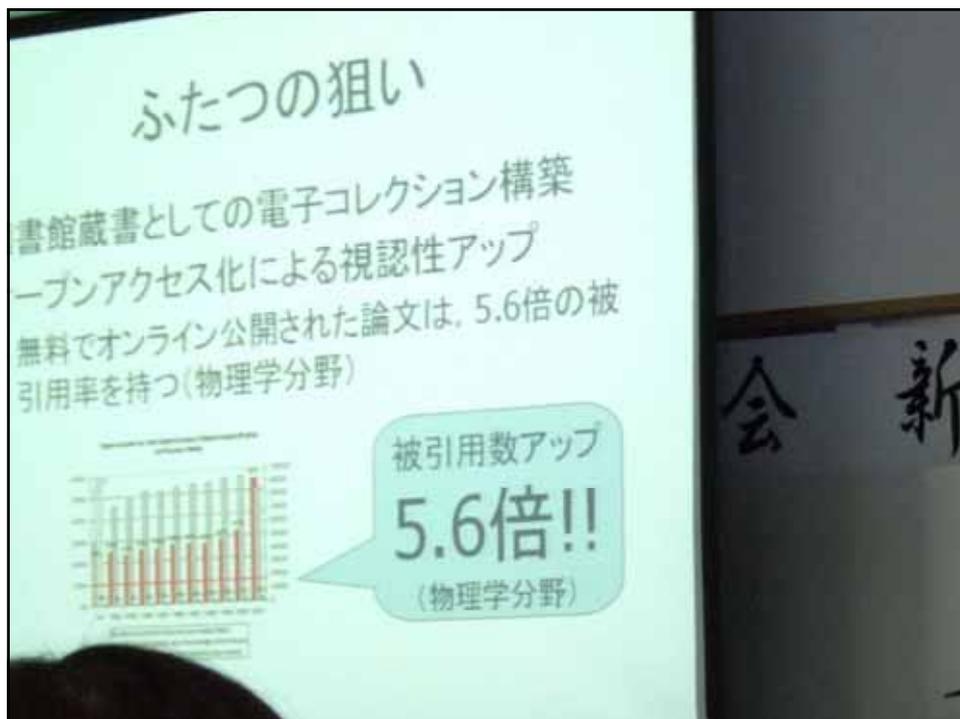
説明時の質問(例、残念ながら全部記録をとらなかった)

著作権関係は大丈夫？ 提出の手間はかかるのは困る、最終稿とは？ 学位論文は後から出版するが著作権は？

リポジトリ(名称)がわかり難いのでは？

電子ジャーナルのように予算は必要ないですね？



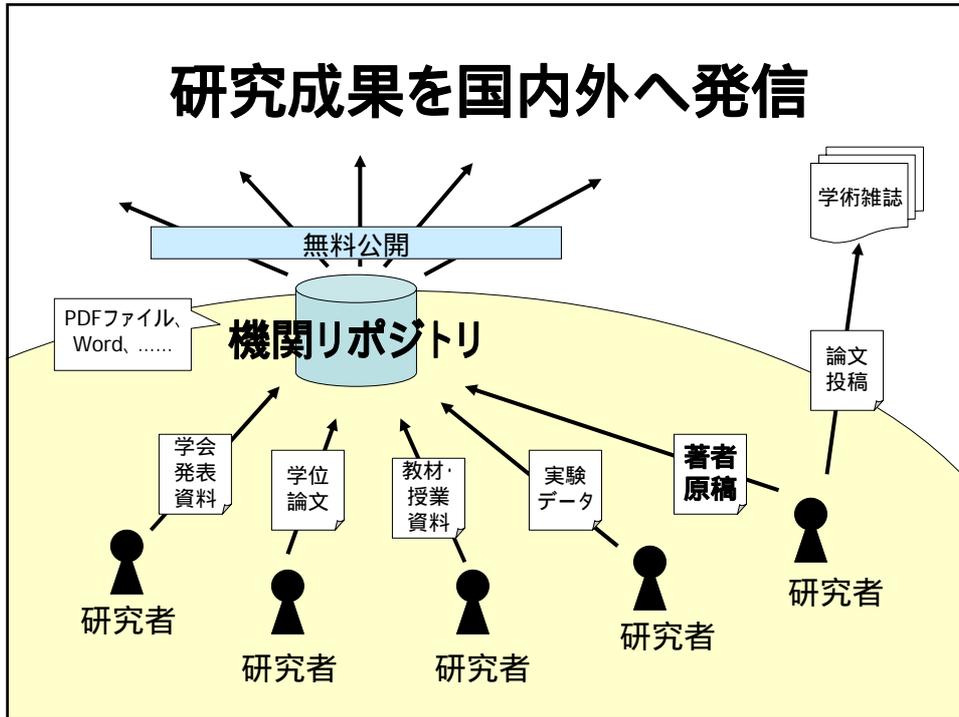


金沢大学機関リポジトリ(仮称)

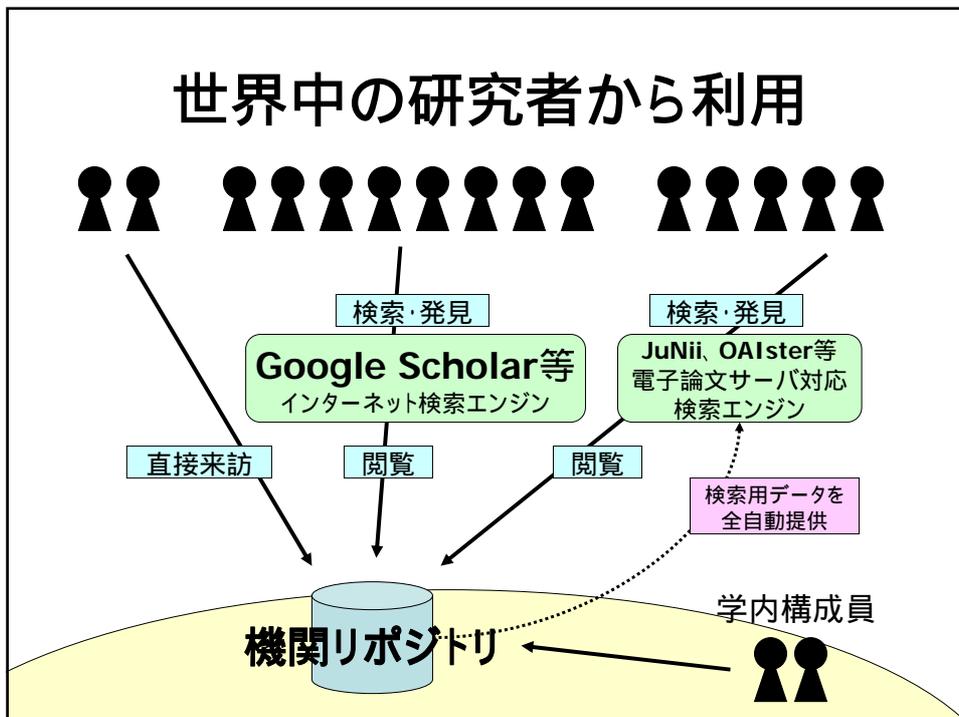
ご紹介とアンケート調査・
論文寄贈のお願い

平成17年12月
附属図書館

研究成果を国内外へ発信

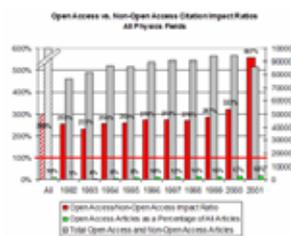


世界中の研究者から利用



ふたつの狙い

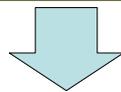
- 図書館蔵書としての電子コレクション構築
- オープンアクセス化による視認性アップ
 - 無料でオンライン公開された論文は、5.6倍の被引用率を持つ(物理学分野)



被引用数アップ
5.6倍!!
(物理学分野)

金沢大学にとって

金沢大学機関リポジトリ(仮称)の充実



- 研究・教育成果の視認性の向上
- 電子化された知的生産物の恒久的保存
- 研究成果の社会還元
- 研究・教育資源の共有化
- 大学法人としての本学のアカウンタビリティの向上
- 学術情報流通のオープン化